
私の世界

遊己

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の世界

【Nコード】

N7833B

【作者名】

遊己

【あらすじ】

作者の中の世界です。詩のような感じですよ。良ければ読んでやって下さい

(前書き)

小説ではなく詩のような感覚で書きました。
本当に思った通りに書きました。

あとから読んだら自分でも訳がわからないかもです。
でも、今の自分の気持ちそのままを文章にしました。
よければ読んでやって下さい

私は知ってる

何者も私を汚す事はないということ。

私は知ってる

私は何者もを汚す事が出来ないということ。

何者も私を汚せない

何者もを私は汚せない。

だから世界は面白い。

だからこそ、世界は寂しいのだ。

さようなら。

その言葉の意味を私は知らない。

こんにちは

その言葉の温かさを私は知らない。

一つ一つの言葉を心に刻もう。

一つ一つの出会いに感謝しよう。

私は特別ではない。

私は普通の人間なのだ。

普通を幸せと感じれば

きっと私の人生は変わるだろう。

そこまで私は人が出来ていないから

そんな事は考えれても普段の生活には活かされない

だけど知ってる

人は誰であろうともかけがえの無い存在である事を
自分もそのうちの一人であることを

誰もが特別で

誰もが普通である事を

私は幸せ。

今この瞬間が幸せ

誰もが特別であるのならば、

誰もが特別ではないのではないのか？

誰もが特別ではないのならば、

誰もが普通なのではないのか？

普通である事は恥ずかしい事ではない

恥ずるべき事は

自分を自分で制御できない事

自らの体であるはずなのに

体に精神が支配される事

人を人が裁く事はできない

人が人を裁くなんておこがましい

人が決めた罪の尺度に人がはめ込まれていく

それに気付かずに人は人によって裁かれる

同じ人であるはずなのに

同じ生き物であるはずなのに

誰が決めたわけでもない

人が決めた尺度によって

人の優劣が決定する。

誰かが特別で

誰かが普通なら

誰も誰かを裁くことなんて出来ないはずなのに

（後書き）

変な文章最後まで読んでくださってありがとうございました。

ただいまスランプ

なかなか話を書く事ができなくてこんな文章が出来上がりました。

これから見放さずによければ私のつたない文章を読んで下さいます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7833b/>

私の世界

2010年10月9日02時20分発行